

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名	徳島県		
高校入試 担当部署名	徳島県教育委員会 教育創生課 新未来教育担当		
TEL	088-621-3120	FAX	088-621-2880
URL	http://nyuushi.tokushima-ec.ed.jp/		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	森脇昌子 (所属: 鳴門教育大学大学院)
--------	-----------------------

<全国一覧掲載情報>

I 全日制高校について				II 定時制高校について			
A.外国人生徒		B.中国帰国生徒等		C.外国人生徒		D.中国帰国生徒等	
A2.措置	A3.枠	B2.措置	B3.枠	C2.措置	C3.枠	D2.措置	D3.枠
○	×	○	×	○	×	○	×

調査した人から、関係者の皆さんへお知らせ

1.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ	徳島県国際交流協会(TOPIA(トピア))(とくしま国際戦略センター) https://www.topia.ne.jp/ 相談員が英語、中国語、ベトナム語で対応してくれます。 通訳サービスや翻訳機を利用すると最大74言語で対応してくれます。
2.多言語による関連情報	徳島県外国にルーツを持つ子どもの受入れ手引き「徳島の学校を知ろう」 jci-tws.com/f-children/schoolinformation.html 中国語、タガログ語に対応しています。
3.その他	あまり情報は出ていないかと思いますが、学校の判断で配慮される部分もあるようなのであきらめずに県教委などにお問い合わせください。

I 全日制高校について

		A.外国人生徒	B.中国帰国生徒等
1.2020年度中について、外国人生徒や中国帰国生徒等の在籍の有無		有	有
2-1.2021年度の一般入試において、外国人生徒もしくは中国帰国生徒等が受けられる入試特別措置の有無		○	○
2-1が有(○印)の場合その名称		特別措置	特別措置
2-2.滞日年数制限		なし	なし
2-3.措置の内容		時間延長, 漢字にルビ, 辞書の持込など具体的な措置は受検者の状況を聞き, 各校と教育委員会が協議の上, 各高等学校長が決定する。	時間延長, 漢字にルビ, 辞書の持込など具体的な措置は受検者の状況を聞き, 各校と教育委員会が協議の上, 各高等学校長が決定する。
3-1.2021年度の入試において、外国人生徒もしくは中国帰国生徒等を対象とした特別入学枠の有無		×	×
3-1が有(○印)の場合その名称			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学枠のある学校数/全学校数		0校 / 全校 32校	0校 / 全校 32校
3-4.学校名			
3-5.定員	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか(定員数内で不合格を出さない内規等があるか)			
3-7.試験内容			
備考		3/3(合格者/受検者)	1/1(合格者/受検者)

Ⅱ 定時制高校について

		C.外国人生徒	D.中国帰国生徒等
1.2020年度中について、 外国人生徒や中国帰国生徒等の在籍の有無		有	有
2-1.2021年度の一般入試において、 外国人生徒もしくは中国帰国生徒等が 受けられる入試特別措置の有無		○	○
2-1が有(○印)の場合その名称		特別措置	特別措置
2-2.滞日年数制限		なし	なし
2-3.措置の内容		時間延長, 漢字にルビ, 辞書の持込など具体的な 措置は受検者の状況を聞き, 各校と教育委員会が 協議の上, 各高等学校長が決定する。	時間延長, 漢字にルビ, 辞書の持込など具体的な 措置は受検者の状況を聞き, 各校と教育委員会が 協議の上, 各高等学校長が決定する。
3-1.2021年度の入試において、外国人生徒もしく は中国帰国生徒等を対象とした特別入学枠の有 無		×	×
3-1が有(○印)の場合その名称			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学枠のある学校数/全学校数		0 校 / 全校 6 校	0 校 / 全校 6 校
3-4.学校名			
3-5.定員	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつそ の数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか)			
3-7.試験内容			
備考		1/1(合格者/受検者)	1/1(合格者/受検者)

Ⅲ 高校入学後の状況

1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無	有
2.有の場合、その施策の内容	「帰国・外国人児童生徒”いきいき”事業」による日本語講師の派遣 (年間実施時間31時間)
3.2020年度の入試について、直接来日後の外国籍の受験者(外国において、学校教育における9年の課程を修了した者)の有無	無
4.2019年度中に、直接来日後による編入学者の有無	無

Ⅳ 日本国内にある外国人学校からの入学について

	↓ 記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国人学校の中等部の卒業生について、一般の受験(受験)資格とは別に高校受験(受験)者資格を認めているか否か	○	
1-2. 1-1で認めている場合 ①外国人学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受験)を認めている(外国人学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	④	学校教育法施行規則第95条各号のいずれかに該当する場合、事前に入学資格確認を行い、要件を満たせば認めている。
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国人学校の中等部の卒業生について、一般の受験(受験)資格とは別に高校受験(受験)者資格を認めているか否か	○	
2-2. 2-1で認めている場合 ①外国人学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受験)を認めている(外国人学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	④	学校教育法施行規則第95条各号のいずれかに該当する場合、事前に入学資格確認を行い、要件を満たせば認めている。
3.上記のⅠⅡ特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国人学校の在籍期間は、日本での在住期間に含むか否か	×	
4.外国人学校の中等部の卒業生について、2020年度入試において受験(受験)希望があったか	×	